

「学生によるオレンジリボン運動」 小田原女子短期大学 実施報告書



実施主体 保育学科1年生

実施内容 平成24年10月13日～10月14日の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

授業内で、児童虐待防止、社会的養護施設の現状を学び、保育者の役割について意識を高めた。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・教室内にて、過去の児童虐待防止にかかわる新聞記事の掲示、過去の児童虐待防止ポスターの掲示、虐待の現状(児童虐待による死亡事例等の検証 第8次報告など)や「体罰と虐待」に関する授業で使用しているパネルの展示などを行った。
- ・虐待や虐待防止に関するマンガ(「凍りついた瞳」「ちいさいひと」)、絵本、一般向け図書などを置き、自由に閲覧してもらった。
- ・一角に折り紙コーナーも設け、来場者がリラックスできる工夫をした。
- ・来場者にアンケートを取った。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

- ・アンケート結果 50名から回収
10代 女性 27名 男性 1名
20代 女性 9名 30代 女性 3名
40代 女性 4名 50代 女性 3名 男性 1名 不明 1名
60代 男性 1名
- 「虐待がこんなに多いと知らなかった」「意外にネグレクトが多いと分かった」「周囲の人が協力していく必要がある」「虐待は目に見えないものもあるので難しい」「赤ちゃんがすごく虐待にあっているのが衝撃的」などの感想を得た。
- ・意外にオレンジリボンを知らなかったという人が多く、啓発の必要を強く感じた。